



2018年3月期 決算補足説明資料

株式会社イオレ

(東証マザーズ、証券コード:2334)

2018年5月15日

※ 決算説明会資料は決算説明会（5月23日
開催予定）終了後に公表予定です

1. 2018年3月期業績 ハイライト【売上高】

2018年3月期は、各サービスで前年同期比増収となり、売上高は、前年同期比33.9%増で過去最高となり業績予想通りとなりましたが、サービス別にはばらつきがありました。

(百万円)	2017年 3月期 実績	2018年 3月期 実績	2018年3月期 業績予想 (2017年12月 15日発表)	前年同期比	業績予想比
売上高(全体)	1,157	1,550	1,541	+33.9%	+0.6%
らくらく連絡網	225	241	255	+7.1%	△5.7%
pinpoint	344	498	491	+44.5%	+1.4%
ガクバアルバイト	193	195	209	+1.2%	△6.5%
らくらくアルバイト	108	142	146	+31.7%	△2.8%
その他	286	473	438	+65.0%	+7.9%

※ 各サービスの売上高の合計と売上高(全体)は、表示単位未満切り捨てのため一致しません。(次ページ以降も同様です)

運用型広告の引き合いが想定以上に増えたため、将来的なプレゼンスを確保するため、実績作りも含め積極的に運用型広告の受注にシフトしました。

(百万円)	2018年3月期 業績予想 (2017年12月 15日発表)	2018年 3月期 実績	業績予想比
売上高(全体)	1,541	1,550	+0.6%
らくらく連絡網	255	241	△5.7%
pinpoint	491	498	+1.4%
ガクバアルバイト	209	195	△6.5%
らくらくアルバイト	146	142	△2.8%
その他	438	473	+7.9%

当社が強みを持つ採用広告、求人広告市場において、運用型広告の引き合いが増加。将来のシェアやプレゼンス拡大のため、積極的に運用型広告の受注にシフト。

1. 2018年3月期業績 ハイライト【利益】

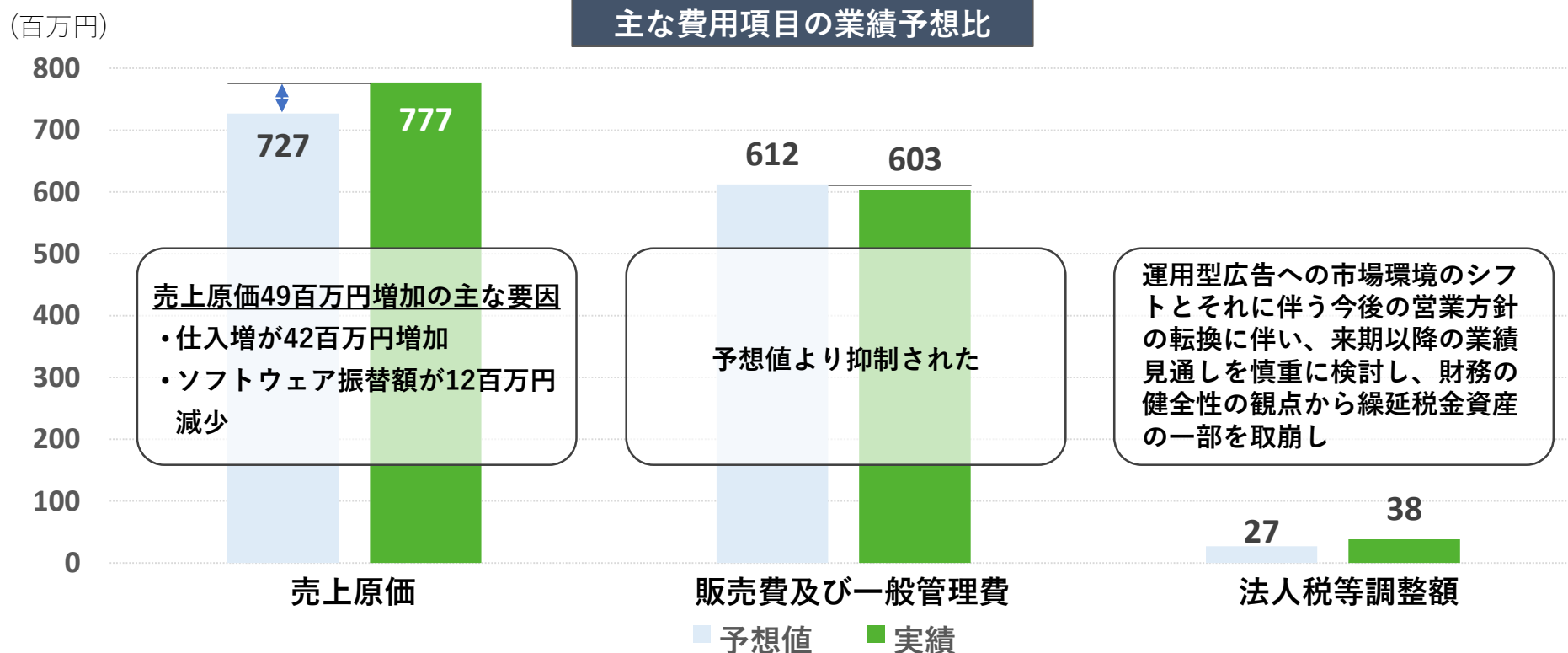
売上高の伸びを受け、営業利益、経常利益は過去最高益となりました。一方、主に売上構成の変動により2017年12月15日発表の業績予想から、営業利益、経常利益、当期純利益でそれぞれ、31百万円、23百万円、34百万円、下回る結果となりました。(次ページ参照)

(百万円)	2017年 3月期 実績	2018年 3月期 実績	2018年3月期 業績予想 (2017年12月 15日発表)	前年同期比	業績予想比
売上高	1,157	1,550	1,541	+33.9%	+0.6%
売上原価	541	777	727	+43.6%	+6.8%
販売費及び一般管理費	500	603	612	+20.5%	△1.5%
営業利益	116	169	200	+46.0%	△15.6%
営業外損益	△3	△14	△22	-	-
経常利益	112	155	178	+38.0%	△13.0%
税引前当期純利益	112	154	178	+37.8%	△13.1%
当期純利益	127	91	125	△28.7%	△27.7%

1. 2018年3月期業績 ハイライト【主な費用項目】

以下の背景で、営業利益、経常利益、当期純利益が予想値より減少いたしました。

- 費用面では、①原価率の高い「pinpoint」「その他」が好調であった一方、原価率の低い「らくらく連絡網」「ガクバアルバイト」「らくらくアルバイト」の売上高が未達という売上構成の変動を受けたこと、②開発リソースの一部を、運用費や新サービス企画、社内ネットワーク強化に振り分けたため、ソフトウェア振替額が減少したことで、売上原価が想定より増加。
- また、その売上構成トレンドを将来予測に織り込んだことから、法人税等調整額が増加。



2019年3月期は、イオレの転換点

① 自社メディア広告から、他社メディアの運用型広告へとシフト

⇒ **pinpoint** 及びその他運用型広告の強化

② アドテクノロジー事業のさらなる推進

⇒ **pinpoint** と他社データベースとの連携の強化

市場

求人広告・採用広告市場が運用型広告に急速にシフト

競合

一般ネット代理店からも市場が注目を浴び、参入の可能性



早期に自社メディア販売の比重を他社メディアを含む運用型広告受注にシフトすることで、求人広告・採用広告市場内でプレゼンスを確立すべきと判断

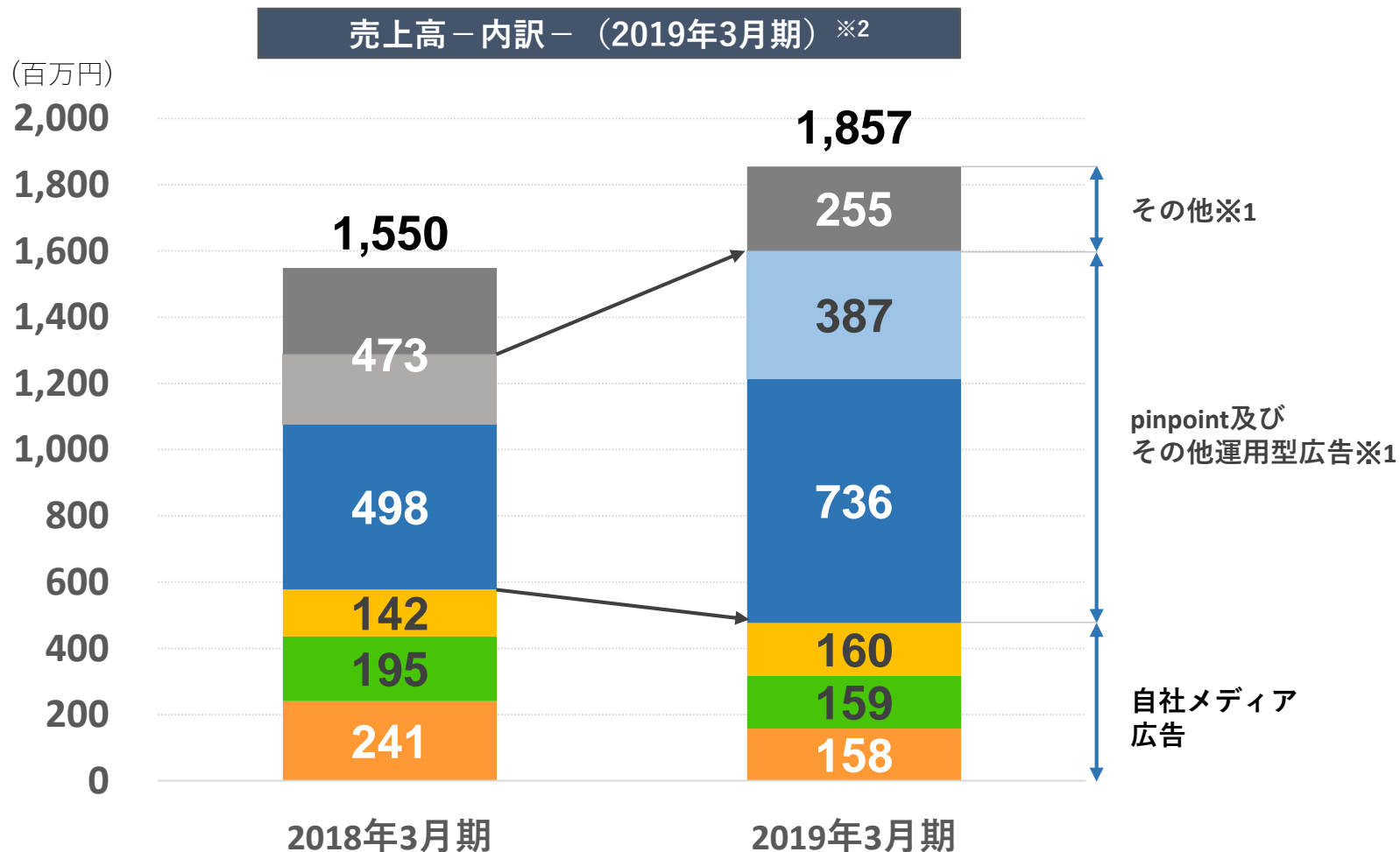
3. 2019年3月期業績見通し

2019年3月期は、DSPを中心とする運用型広告拡大の流れを受け、営業戦略並びに営業体制を同サービス向けにシフトすることから、前年同期比で売上高は19.8%増となるものの、営業利益は86.9%減、経常利益は86.8%減になる見通し。

(百万円)	2017年3月期 実績	2018年3月期 実績	2019年3月期 業績予想	前年同期比
売上高	1,157	1,550	1,857	+19.8%
売上原価	541	777	1,085	+39.7%
販売費及び一般管理費	500	603	749	+24.2%
営業利益	116	169	22	△86.9%
経常利益	112	155	20	△86.8%
当期純利益	127	91	11	△87.2%

3. 2019年3月期業績見通し 【売上高－内訳－】

2019年3月期は、pinpoint 及びその他運用型広告に戦略的にシフトいたします。



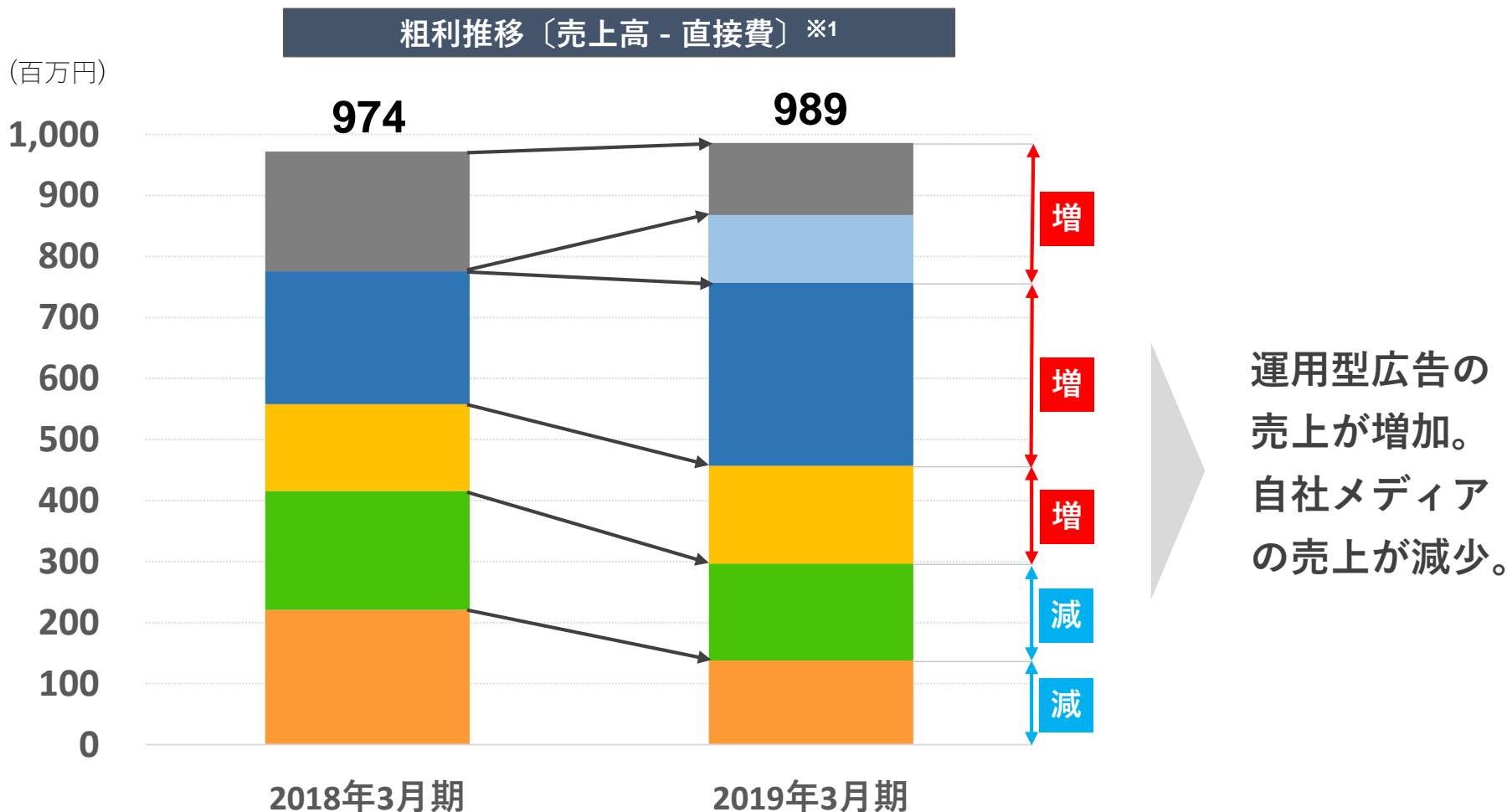
■らくらく連絡網 ■ガクバアルバイト ■らくらくアルバイト ■pinpoint ■その他運用型広告 ■その他

※1 2019年3月期より「その他」に含まれていた「他媒体広告」と「pinpoint」を1つのサービスとしてとらえ、「pinpoint及びその他運用型広告」としております。また、2018年3月期は「pinpoint及びその他運用型広告」と同一の定義で管理しておりません。

※2 各項目の合計と売上高の値は、表示単位未満切り捨てのため一致しません。

3. 2019年3月期業績見通し 【粗利－内訳－】

自社メディアの広告販売が減少することで、粗利※¹（売上総利益とは異なる）は微増。



■ らくらく連絡網
 ■ ガクバアルバイト
 ■ らくらくアルバイト
 ■ pinpoint
 ■ その他運用型広告
 ■ その他※²

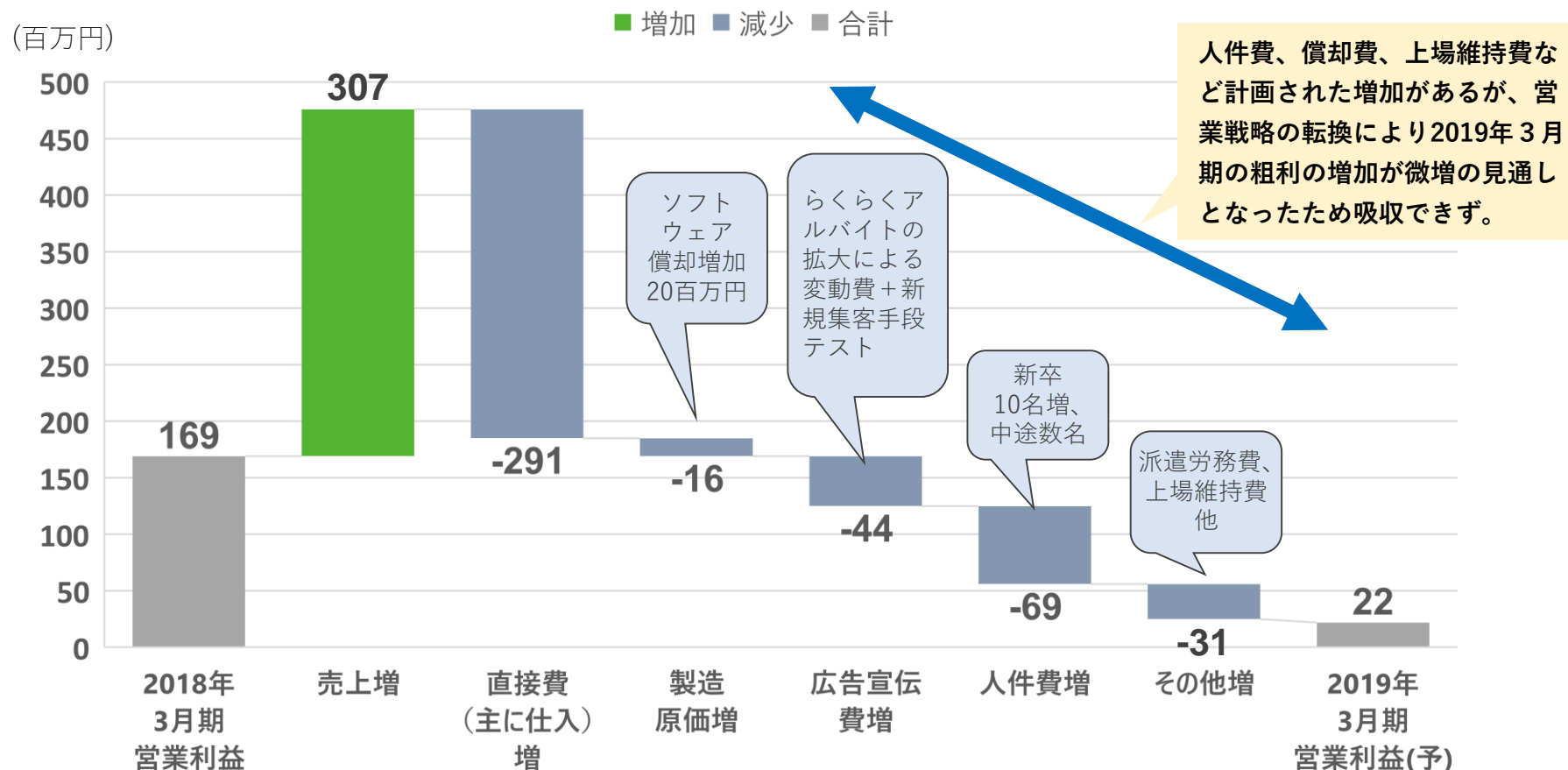
※¹ 売上原価は、直接費と製造原価で構成されております。粗利は、製造原価を含まない「売上高 - 直接費」という定義となります。

※² 2018年3月期は、「その他」の中における「その他運用型広告」を分けておりません。

3. 2019年3月期業績見通し 【販管費及び利益の推移】

一方、人員増、償却費増などにより営業利益は減益となる見通しです。人員増は、pinpoint及びその他運用型広告への営業並びに営業サポート強化のため層を厚くすることに充当いたします。

利益減内訳 (2019年3月期)

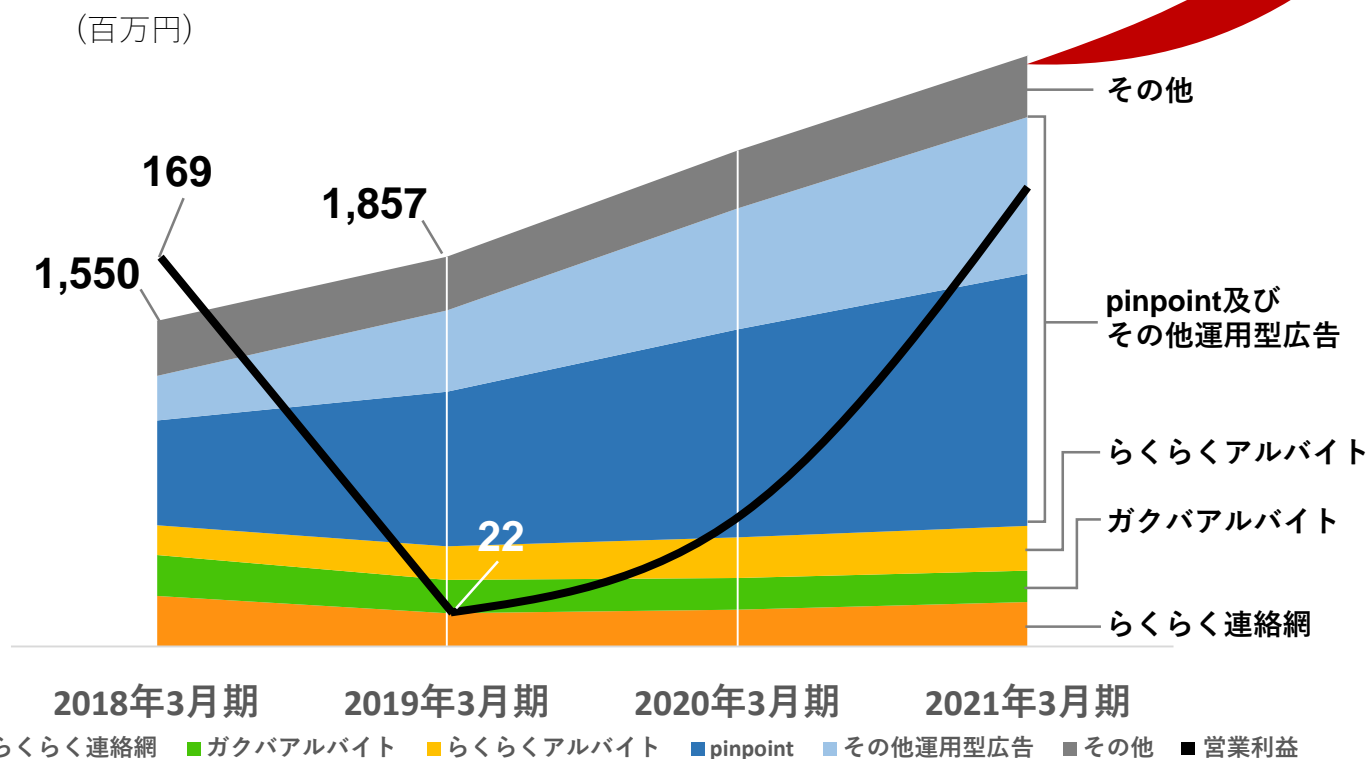


※ 各項目の合計と営業利益の値は、表示単位未満切り捨てのため一致しません。

4. 今後の成長戦略

まずは、強みのある求人広告・採用広告で運用型広告実績を、競合他社に先んじて確立することを優先したいと考えます。規模の拡大により、利益は回復する見通しです。

売上高及び営業利益
(2018年3月期：実績、2019年3月期～2021年3月期：予想)



※ 2018年3月期は「その他」にpinpoint以外の運用型広告が含まれておりますが、上記グラフでは、比較上、数値を参考値として分けております。

2018年5月23日（水）に決算説明会を開催する予定です。

決算説明会資料は、決算説明会終了後に当社ホームページにて公表予定です。

免責事項

本資料は、株式会社イオレ(以下、当社)の現状をご理解いただくことを目的として作成したものです。当社は当社が入手可能な情報の正確性や完全性に依拠し、前提としていますが、その正確性あるいは完全性について、当社は何ら表明及び保証するものではありません。

また、将来に関する記述が含まれている場合がありますが、実際の業績はさまざまなリスクや不確定要素に左右され、将来に関する記述に明示または黙示された予想とは大幅に異なる場合があります。したがって、将来予想に関する記述に全面的に依拠することのないようご注意ください。

本資料及びその記載内容につきまして、当社の書面による事前の同意なしに、第三者が、その他の目的で公開または利用することはご遠慮ください。